

海と共に

鮮力キ 盛漁期へ

1割増、1800トン見込む

当組合の鮮力キ共販入札が10月7日、始まった。昨シーズンより8日遅れたが、放卵が進み身入りは順調に回復。これから盛漁期を迎えている。これまで目立ったシケ被害などは聞かれず、昨シーズン（1676トン）を1割近く上回る1800トンの出荷が見込まれる。



カキがシーズン入り、安定的な出荷と価格に期待がかかる(10月7日、石巻湾支所「万石浦鮮かき工場」)

安定価格・出荷に願い



須田政吉部会長

入札は昨シーズンと同様に2カ所、石巻、塩釜両総合支所の共販所で開催。北部の支所は石巻入札に上場している。ハシリは1日、石巻が9、10ト、塩釜が2、3トペースとなっている。当組合は今季も、「生食向け」を看板に他産地との差別化を図っている。

健康管理も重要になる。これから盛漁期に向け価格形成が焦点となっていく。高値で安定し生産調整が年明け以降となつた昨シーズンのような展開に期待がかかる。今季の生産見込みは支所かき部会などの見方を積み上げ1800ト。昨シーズンの減産要因となつた鳴瀬地区など松島湾のへい死はいまのところ聞かれない。ただ、石巻湾の牡鹿半島方面の2年子で成長して殻が大きくなつてからの死滅が見られ、気掛かり。



アワビ・ウニ 巡回キャンペーン 密漁防ぎ

沿岸で実施

アワビやウニ、ナマコなどの密漁を防ごうと、当組合は8月、宮城海上保安部や県警、自治体と連携し巡回キャンペーンを展開した。5日間わたつて県内沿岸部を回り、密漁防止への協力を呼び掛けた。

式終了後、当組合の広報車やパトカーなど8台が出發し、女川町支所から中部地区を巡回。密漁防止をアナウンスで訴え、各浜で「無許可で捕ると罰せられます」などと書かれたクリアファイルを配った。

は昨シーズンと同じ。北部の志津川支所倉出張所と中部の石巻地区、石巻市東部、石巻湾の3支所の漁場、カキとなる。昨シーズンの鮮力キ共販は1676ト、23億9400万円(税抜き)、10ト平均単価1万4286円(同)の実績。

当組合かき部会・須田政吉部会長の話、カキの入札開始は仲買と相談して当初の目標より1週間ほど遅らせた。成育は順調だが卵が多かつたため、初入札では卵が抜け待った甲斐があつた。北、中、南の各地区とも事故なく順調にむけると

よく、そうすれば計画の1800トは出荷できる。昨年度と同様に単価的にも良くなるという。むき休みは昨年度と同じ日曜。生産調整の休みは入れたくないが、休み場合は丸1日ではなく8時間むきを6時間にするなど時間短縮がベスト。

「みやぎサーモンSMOKE」発売

オール県産で高付加価値

当組合が事務局を務めるみやぎ銀さげ振興協議会(会長・松本洋一当組)「みやぎサーモンSMOKE」を開発、発売した。全国的にも珍しい

た。餌に県産飼料用米を使った「みやぎサーモン」を県産木製チップで薫製にしたスモークサーモン。全国的にも珍しい

農林水産部の連携の下、海外での販路拡大も視野に入れる。当組合がサーモン、全農みやぎが飼料用米、県森林組合連合会がチップをそれぞれ供給し、女川町のワイケイ水産(株)が商

品化。県の助成を受け、販売にこぎ着けた。コーディネートした農林中央金庫によると、農林水の3領域連携は全国的にもまれという。

同協議会の松本会長があいさつ。「生産者が丹精込めたみやぎサーモンの香りを凝縮した味わいが好評だった。

同協議会は、来年の東京オリンピック・パラリンピックで来日する生食が苦手な外国人にもPRしたい考え。サーモンの人気は海外でも高く、農林中央金庫の河本紳常務執行役員は「一次産業に携わる人たちの役に立ちたい。輸出に向けても全力でサポートしていきたい」と力を込める。

震災後は、防潮堤で沿岸部が見えにくくなったほか、住民が高台に住むようになり、以前に比べ密漁が行われやすくなっている恐れがある。



新商品の「みやぎサーモンSMOKE」。漢字の「煙」をピクトグラム風にアレンジしたパッケージも印象的



スモークサーモンの魅力が詰まった料理が振る舞われた試食会



ホテルのシェフが彩りよく仕上げた試食会メニュー

試食会では、食材王国みやぎ「伝え人(び)」

「みやぎサーモンSMOKE」とお酒が醸す「マリアージュ」の機会を提供していきたい」と話した。

冷凍タイプで1パック80g。当組合のウェブショップで4個セット4千円(送料込み)で購入できるほか、県内のスーパーでも販売中。

巡回キャンペーンは、東日本大震災の影響で中止していたが、昨年再開。今年は8月5・6日に中部地区、7日に南部地区、20・21日に北部地区で実施した。

気仙沼地区千尋会と石巻湾女性部に栄誉

漁業者交流大会・実績発表

第18回宮城県青年・女性漁業者交流大会が8月8日、石巻市河北総合センターで開かれた。県内6団体が地域活性化や養殖技術向上



日ごろの活動成果を披露した6団体の発表者

などをテーマにそれぞれの取り組みを発表。最優秀賞に輝いた当組合の気仙沼地区支所青年部千尋会と石巻湾支所女性部は県代表として

来年3月、東京での全国大会に出場する。

気仙沼地区支所青年部千尋会は「次世代に繋げるワカメの『わ』」



小学校の養殖体験学習で伝える気仙沼の自然と伝統」と題して尾形拓弥さんが発表。



丹野恵子さん

東日本大震災で後方支援拠点となった若手県遠野市の市消防本部で研修

園からも体験学習の依頼を受けるようになったことや、子どもたちにより良い学習環境を提供するため漁業者自身も研さんを積みようになったことなどを報告。

「防潮堤が復旧したら、地域住民や他地域の小学校を対象とした体験学習も行いたい。気仙沼の豊かな自然と食文化を守り伝えるとともに、子どもたちの心豊かな人間性を育む活動を次世代に引き継いでいきたい」と述べた。

石巻湾支所女性部は「地域再生とともに歩む女性部」をテーマに、丹野恵子さんが震災後に取り組んだ防災・減災活動や貯蓄推進活動などを発表。

東日本大震災で後方支援拠点となった若手県遠野市の市消防本部で研修を受けたほか、有事への備えとして「JFみやぎ女性部定期貯金キャンペーン」を活用。平成25年から29年までの4年間で、支所全体の定期貯金額が12・3%増えたことなどを紹介した。

今後の課題として「部員のさらなる若返り」と「限りある資源の有効活用」を挙げ、「防災や貯蓄活動を継続しながら、

女性部加入の呼び掛けに力を入れた。6次産業化の検討も進めたい」と意欲を見せた。他4団体とそれぞれの発表テーマは次の通り。

▽松島支所青年研究会「松島湾内におけるカキ延縄式養殖施設導入試験」
▽気仙沼地区支所松岩女性部「七に三たし五に五たすの十の精神」
私たちにできること、協同組合の原点に立ち返り、

▽渡波漁協漁協渡波赤貝漁業部「渡波アカガイ資源の復活を目指して」
アカガイ中間育成管理の再構築
▽宮戸西部支所「げんちゃんハウスで『宮戸の味』を復活、浜の味を提供しながら、おいしい食べ方を伝えたい」

あり、今後もこの厳しい傾向が続くと予測した。幾多の困難に遭いながらも、さまざまな漁業・養殖業の取り組みを成功させてきた先人たちの業績も紹介した上で「天気は変えられないが、『種つくり』『場つくり』『人つくり』はできる。三陸の海は清澄な上、栄養塩が豊富で餌も多い。内湾から外海の多様な立地を生かして、若さあふれる行動力で現状を打破してほしい」と激励した。

議事では、事業計画や予算などを承認。青年・女性漁業者交流大会(8月)や水産青年フォーラム(来年2月)などの恒例行事ほか、来年1月に仙台市で開催予定の全国漁青連「北海道・東北・茨城ブロック会議」の運営に当たることを確認した。

「行動力で現状打破を」 青年部総会 佐々木良氏が基調講演



当組合青年部(石森圭太郎)の通常総会が7月23日、松島町のホテルで開かれた。部員ら約110人が出席。本年度の事業計画や予算などを可決、承認した。基調講演で元当組合臨時職員(増養殖指導員)の佐々木良さんは、現状打破の鍵とし

用(キャッシュフロー)も把握することができず。漁協は、漁業の専門性をもつだけでなく、組合員の事業活動を多面的に把握できるがゆえに、経営改善を促しながらの機動的な資金供給(貸付業務)をできる立場にあります。そこに貯金業務を加えれば、組合員の貯金(ストック)も把握でき、よりきめ細かな経営指導ができることになり

またわが国では、総合事業体制のもと、信用事業が漁業の発展に大きく寄与した時期もありました。制度資金が整備され、政策と連動し、沿岸漁業の近代化を円滑に押し進めました。漁協で信用事業が行われていないれば、漁業の近代化や養殖業の勃興が出遅れていたと思います。信用事業の兼営は、漁業の成長プロセスには欠かせなかつたといえます。しかし、信用事業は諸刃の剣でもありません。この点については次回に書きたいと思

また、本年度から女川町支所青年部が加わり、24団体で活動していくことを報告。県青年部の役員を長年務めた部員への経営管理委員会会長表彰なども行った。

協同組合論

北海学園大学経済学部教授

濱田 武士

18



漁協信用事業で漁業発展も諸刃の剣に

わが国の協同組合の特徴は、事業をいろいろと兼営する総合事業体制をとれるところにある。先進国ではレジャーです。なかでも、農協、漁協、水産加工業協同組合は、販売、購買、利用

同組合においては共済事業も兼営できません。信用事業や共済事業の兼営が許されない理由は、兼営する他の事業の赤字を信用・共済で補うことができるからです。協同組合経営内に組合員

が、経営と生活には、常に資金調達が必要です。沿岸漁業の場合ですと、家族漁業が中心であるがゆえに、長期的には漁船、機器・施設、住宅、短期的には燃料、漁具・資材、生活の資金を準備

しなくてはならず、手持ち資金の不足分を外部から調達しなければなりません。しかし、資金の貸し手側が、沿岸漁業者の組合員の営漁状況を詳しく知ることができ、販売事業や購買事業の利用を通

て、組合員の資金利に五たすの十の精神」私たちにできること、協同組合の原点に立ち返り、

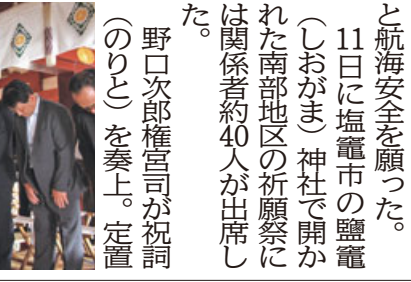
またわが国では、総合事業体制のもと、信用事業が漁業の発展に大きく寄与した時期もありました。制度資金が整備され、政策と連動し、沿岸漁業の近代化を円滑に押し進めました。漁協で信用事業が行われていないれば、漁業の近代化や養殖業の勃興が出遅れていたと思います。信用事業の兼営は、漁業の成長プロセスには欠かせなかつたといえます。しかし、信用事業は諸刃の剣でもありません。この点については次回に書きたいと思

また、本年度から女川町支所青年部が加わり、24団体で活動していくことを報告。県青年部の役員を長年務めた部員への経営管理委員会会長表彰なども行った。

また、本年度から女川町支所青年部が加わり、24団体で活動していくことを報告。県青年部の役員を長年務めた部員への経営管理委員会会長表彰なども行った。

豊漁と航海安全を 鹽竈神社などで祈願祭

当組合は9月、豊漁祈願祭を県内3地区に分けて執り行い、今季の大漁と航海安全を願った。



野口次郎権宮司が祝詞(のりと)を奏上。定置を安定させる手段はただ一つ、販売力の強化のみ。新たな販売網の構築を進めたい」と誓った。



また、本年度から女川町支所青年部が加わり、24団体で活動していくことを報告。県青年部の役員を長年務めた部員への経営管理委員会会長表彰なども行った。



谷川支所・渥美政雄さん



と出荷し、卒業後家業を継いだ。祖父はすでに引退していたため、先輩に

フットワーク軽く、何でも試してみる

谷川漁港で、新設の筏を浮かべる作業の手を休めて話をしてくれたのは渥美政雄さん(42)。小さな頃から父の仕事を手伝っていたが、高校3年

が動いただけお金になる、時間が自由」と言うが、ずっと海が大好きだ。磯焼け対策で、

政治さんは谷川支所青年部会の会長を務め、2期4年目になる。同じ仮設住宅に暮らす谷川、鮫浦、泊各浜の若者同士で話すなか、「うちらでい

はコンブやワカメの種苗を磯に打ち付けたりもしたが、ウニの食圧で大きくなる前に食べられてしま

谷川支所は後継者も多し活気のある浜が多い。若者が多いから、フットワーク軽くいろいろなことにチャレンジできる。

子どもは3人。家を継いで助けてくれている23歳の長男を頭に、やはり



七ヶ浜町花洲浜のノリ養殖施設を見学(9月6日)

テもけつこう厳しい状況が続いているので、どう乗り切っていくか、青年部会皆で知恵を絞っている。後継者がいるとはいえ、その次の世代はどうなるかわからない。今この厳しい状況で、子どもに漁師は薦められないという人も多い。皆が安心して生活し、魅力ある仕事として漁師を推せるような浜に、今からして

塩釜水産物仲卸市場で買い物を楽しんだり、松島の遊覧船観光を満喫しながら交流も深めた。

令和元年第2弾改正!

2019年7月 さらにパワーアップ!

1 より多くの人に安心を! 手厚い医療保障!

2 幅広い掛金払込ニーズにお応えします!

終身共済

医療共済

生活習慣病や女性に多い病気を医療共済に上乗せして保障する、「生活習慣病特約」「女性疾病入院特約(りぼん)」を付加できる条件が緩和され、加入しやすくなりました!

ごん入院が長引いても無制限の保障が一生を通じて、安心!

手術だけでなく、アレルギ、転倒後のキズ固定期間も保障するんだ!

老後の掛金を抑えたい方が「妻は健康でっかい子でいいわね」

生活習慣病や女性特有の病気保障をしっかり上乗せ!

医療共済

生活習慣病特約「りぼん」女性疾病入院特約

昨年7月に制度改正を行ったチョコー(普通厚生共済)が今年7月、さらにパワーアップ! 終身共済などに医療共済「匠」を組み合わせることで、保障の充実や掛金負担の軽減など、契約者のご要望に沿った保障設計が可能になりました。

今回の改正では、生活習慣病や女性特有の疾患を医療共済に上乗せして保障する「生活習慣病特約」

詳しくはお近くのJF(漁協)まで!

JF JF共済

チョコーの改正ポイントをPRするチラシ

組合からのお知らせ 信用共済部 チョココーがパワーアップ 保障充実、掛金負担は軽減

昨年7月に制度改正を行ったチョコー(普通厚生共済)が今年7月、さらにパワーアップ! 終身共済などに医療共済「匠」を組み合わせることで、保障の充実や掛金負担の軽減など、契約者のご要望に沿った保障設計が可能になりました。

また、終身医療共済の掛金払込タイプが、加入時に選択できるようになりました。老後の掛金を抑えたい方は新設の「老後ゆったりタイプ(払込終了年齢・60歳、65歳、70歳)」、なるべく1回の掛金を抑えたい方には「現役お手頃タイプ(同80歳)」がおすすめです。

チョコーは、生涯にわたって万一を保障する終身共済や、教育資金も準備できることも共済など、保障ニーズによって選べるラインアップ。相互扶助の精神で、漁家の

活動事例発表で石巻市東部支所女性部は「魚食PR活動」私たちの取り組み」をテーマに、平塚純子、末永伸恵副部長が動画投稿サイト「ユーチューブ」を使った魚食普及活動を紹介した。

約・女性疾病入院特約(りぼん)の付加条件が緩和され、既往症のある方でも加入しやすくなりました。

生活を守るために運営されています。10月からは加入者を対象にキャンペーンを実施

中。さまざまな特典を用意しています。詳しくはお近くの信用窓口にお問い合わせください。



地域活性化の方策を探ったグループディスカッション。下は活動事例発表を行う石巻市東部支所女性部員(9月5日)

新しい漁業の形を見据えて



仙南支所（巨理） 組合員121人（巨理のみ）、うち准54人。職員は8人。販売取扱高は約7億3000万円。そのうち80%以上が漁船漁業、残りはノリの共販。活魚で東京をはじめとする全国の都市に送られるヒラメやカレイは肉厚で評価が高い。

漁船漁業とノリ

巨理町の荒浜を拠点とした県南の漁船漁業の基地。「はらこめし」発祥の地としても知られる。漁港のある鳥の海は干潟が広がり、渡り鳥の中継地として愛鳥家の間でも注目されている。仙南支所は巨理、山元、閑上の3つの地域に分か

れ、いずれも漁船漁業が盛んだが、ノリ養殖をしているのは巨理だけ。震災前の5経営体が共同で経営する。漁港周りの整備も進み、町のイベントも増え、釣り客も戻ってきた。ただ、以前組合員の3分の2ほどが住んでいた土地が危険区域となったため、現在は組合員の

菊地幹彦運営委員長



岩崎幸雄支所長



▶仙南支所（巨理）

支所を訪ねて

河北町支所

河北町支所 組合員数47人、うち准31人。職員は嘱託合わせ2人。平成30年度販売取扱高は4190万円。カキの養殖と秋サケ・カレイ類の刺網を行っている。カキは手をかけ8カ月で出荷する。品質にこだわり、丸くて甘みがある。



小川英樹運営委員長



阿部和志支所長



人が住めない漁場に

石巻市北東部、北上川河口にある長面浦を管轄している。この周辺は震災後危険区域となり、人々がいなくなつた。それでもカキむき場と番屋をつくり、残った組合員でこのカキを守り続けている。支所は当組合の本所にあつたが、

この4月から石巻総合支所に移転した。組合員の多くは、震災前は半漁半農、カキと米という季節のずれでそれが可能となつてきた。しかし今、移転を余儀なくされたため、組合員は震災前の約6割となった。静かな内湾であるため、高齢でも海の仕事を続ける人が多かったが、近く

自然の恵みと技術で

汽水の長面浦には北上川の栄養豊富な水が流れ込んでカキの成長が速く、春に種付けして冬に出荷する。軟らかく、丸く深く、甘みが強いのが特長だ。自然の恵みだけでなく、人々も長面浦に一番合った方法を試行錯誤し技術を確立していった。原盤を4つに割り、種の数を整調整してロープに挟み込むとい

量より質で勝負する

「この海に何が一番いいかをよくわかつたうえでそれに適した方法を」と小川委員長は強調する。「量は少なくても品質はどこにも負けないものを作らないと、うちのようには小さいところは生き残れない。一つのカキをむく手間は

新規就業者に期待

担い手募集にも力を入れ、県や町の漁業就業フェアなどにも参加している。今まで全く漁業と縁のなかった若い人たちが熱心に話をきく姿に手応えを感じているという。「会社勤めや営業なんかの仕事の経験をした人とはなく、ちよつと付加価値をつけた販売方法も考

付加価値をつけて

今年4月に仙南支所（閑上・巨理・山元）に赴任した岩崎幸雄支所長。今まで本所や総合支所が長く、初めて浜の声を身近に感じる支所

新規就業者に期待

担い手募集にも力を入れ、県や町の漁業就業フェアなどにも参加している。今まで全く漁業と縁のなかった若い人たちが熱心に話をきく姿に手応えを感じているという。「会社勤めや営業なんかの仕事の経験をした人とはなく、ちよつと付加価値をつけた販売方法も考

に来た。シケ以外は大きな小なり毎日何かしらの水揚げがあり、生産者と顔を合わせる機会があることがうれしい。「浜の声を傾け、生かしていきたい」と抱負を語る。

新規就業者に期待

量より質で勝負する

付加価値をつけて

新規就業者に期待

量より質で勝負する

丸く深く甘みのある1年カキ



初めて口にする生ホヤに「おいしい」の声が多く聞かれた福岡県での試食

地元で、全国で、宮城の海の幸をPR

ホヤ、みやぎサーモンなど、自慢の水産物をさまざまな形、地域で消費者に直接PR。おいしさを知ってもらうことを地道に進めていきます。

6月のホヤの時期には、みやぎ生協の3店舗でPR販売を実施。また6月8日には福岡県豊前市の「うみてらす豊前」の記念式典に参加し、殻付き生ホヤのほか、焼きホヤ、蒸しホヤなどを試食提供しました。今までで最西の地域で初めてホヤを見る人も多量中、予想以上に多くの人に受け入れられました。

9月28日にはお台場で行われた「地理的表示フェスティバル」で全国自慢の11品目とともにみやぎサーモンをプレゼンテーションしました。

10月19、20日には宮城県庁前市民広場で行われる「まるごとフェスティバル」と、同時開催で勾当台公園で開催する「豊かな海づくりフェスタ」に参加。豊かな秋の海の幸をどんどんアピールしていきます。

